東京湾海況情報 R05－02

東京湾水質調査結果（令和 5 年 5 月）

（令和 5 年 6 月 26 日発行）

千葉県水産総合研究センター
東京湾漁業研究所
〒 293-0042　富津市小久保 3091
TEL 0439-65-3071
E-mail futtsusokuho@pref.chiba.lg.jp
千葉県農林水産技術会議

資料　水質調査　5/10 ふさみ丸，5/10 ふさなみ，関東・東海海況速報

5 月 10 日にふさなみ，ふさみ丸で行った東京湾水質調査結果をお知らせします。

【水温・塩分】

表層水温は，内湾で 17～20℃，内房海域で 17～18℃ でした。表層塩分は，内湾で 29～31，内房海域が 31～34 でした。

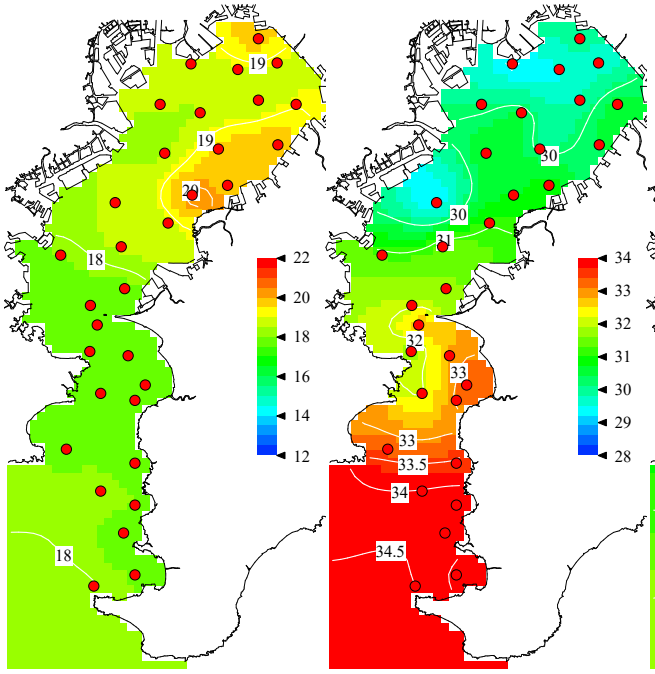

図 1　表層の水温・塩分

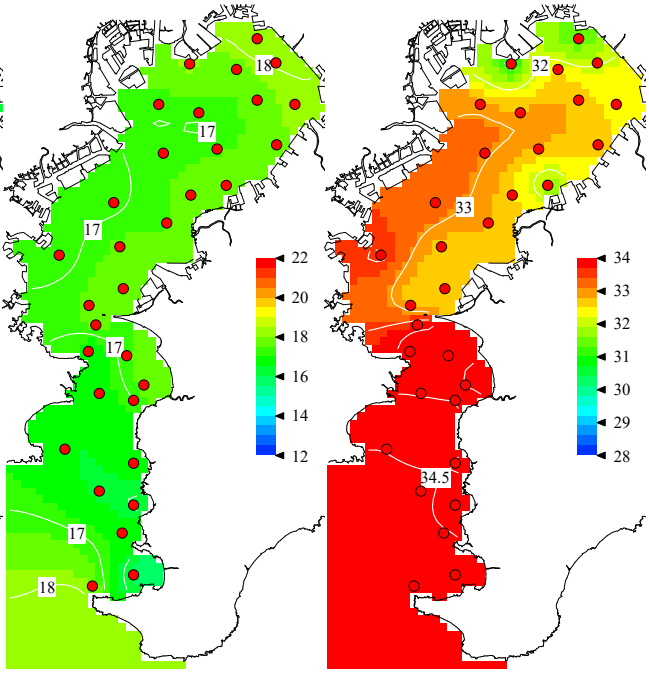

図 2　底層の水温・塩分

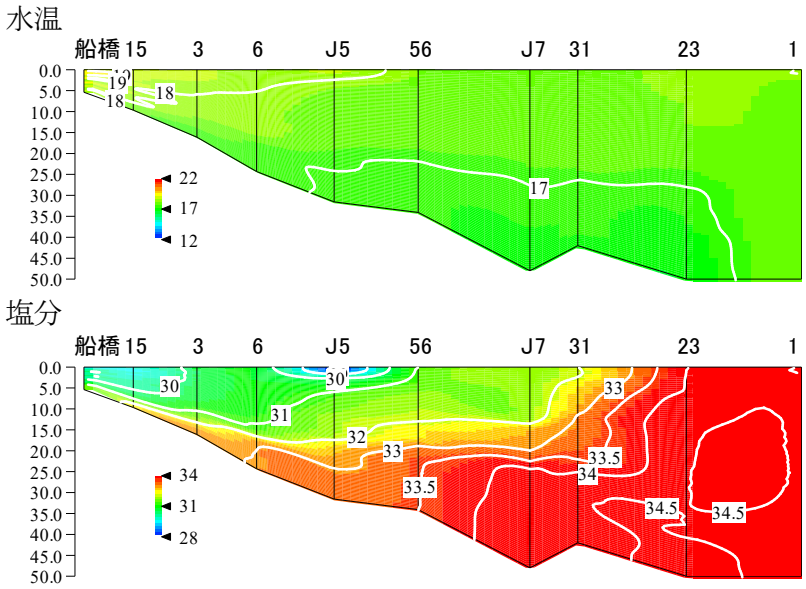

図 3　縦断面の水温・塩分

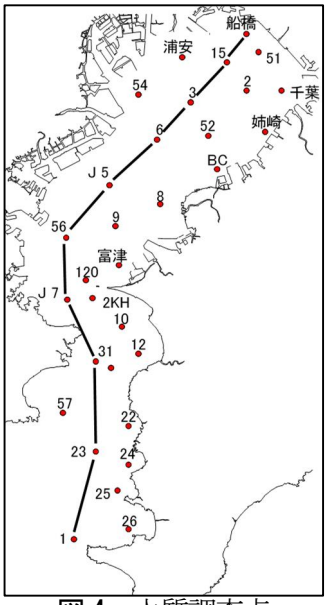

図 4　水質調査点
（実線は調査ライン）

【赤潮】

透明度は，内湾で 2.0～4.0 m，内房海域で 4.5～17.0 m でした（図 5）。植物プランクトンの指標となるクロロフィル a 濃度は，内湾，内房海域ともに 5 μg/L 以下でした（図 6）。赤潮はみられませんでしたが，植物プランクトンの内湾の全域で珪藻が多く，優占種は珪藻スケレトネマ属，タラシオシラ属などでした。

千葉県の赤潮の目安

色	オリーブ～褐色
酸素飽和度	150 % 以上
透明度	1.5 m 以下
pH	8.5 以上
クロロフィル a	50 μg/L 以上

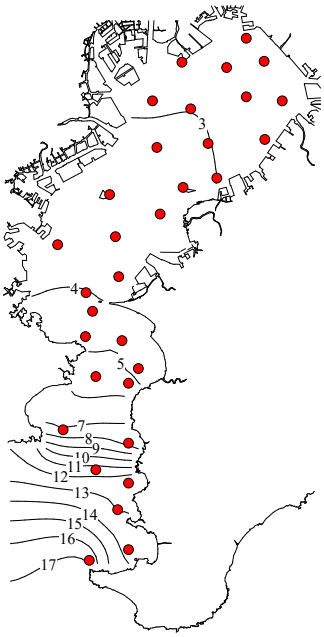

図 5　透明度

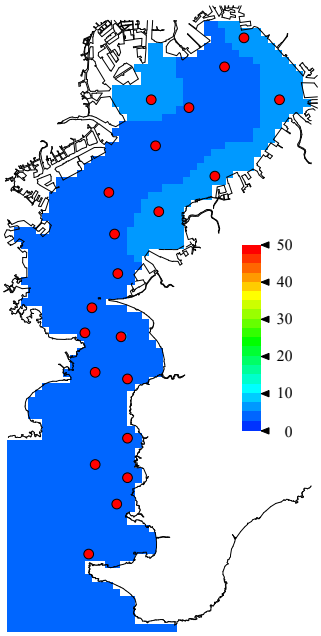

図 6　クロロフィル a 濃度

【貧酸素水塊】

貧酸素水塊は発生していません。珪藻の発生により底層付近まで DO が上昇していました。（図 7，8）。

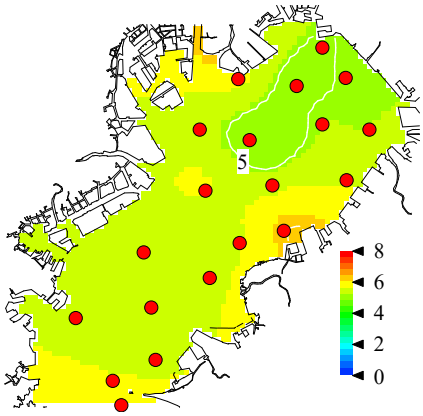

図 7　内湾底層の溶存酸素量（ml/L）

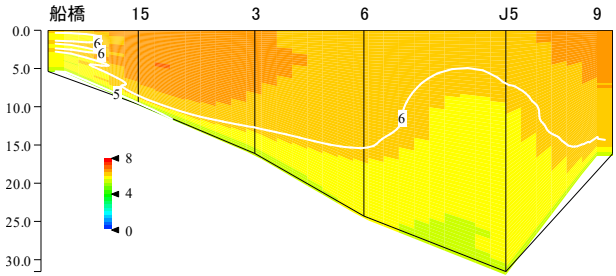

図 8　内湾縦断面の溶存酸素量（ml/L）

貧酸素水の基準

溶存酸素量	2.5 ml/L 以下
酸素飽和度	50 % 以下

【栄養塩（図 9）】

表層の窒素（DIN）は，内湾で 135～474 μg/L，内房で 27～154 μg/L でした。表層のリン（DIP）は，内湾で 5 μg/L 以下～36 μg/L，内房で 5 μg/L 以下～11 μg/L でした。

内湾の富津周辺海域以南では，リンが少なくなっていました。

DIN　　DIP

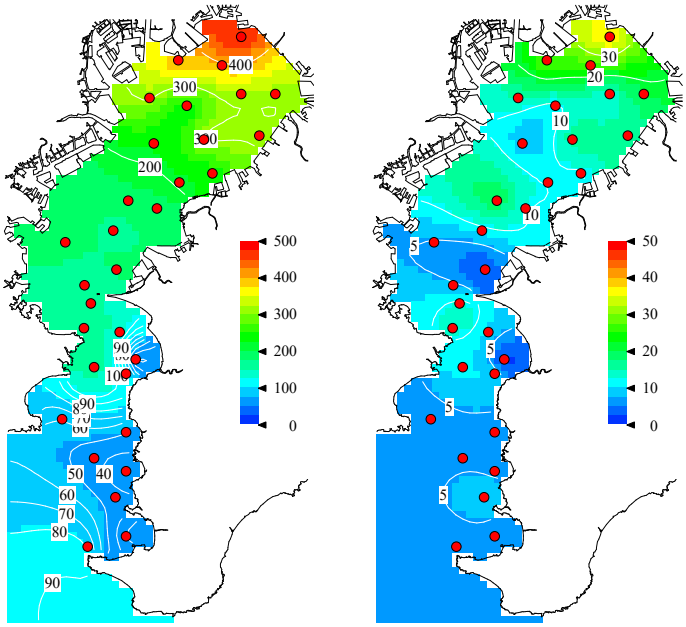

図 9　表層の栄養塩濃度（μg/L）

【 黒潮 】

黒潮はＡ型流路です。小蛇行が伊豆半島沖付近を通過してますので，沿岸に黒潮系水が波及する可能性があります（図 10）。

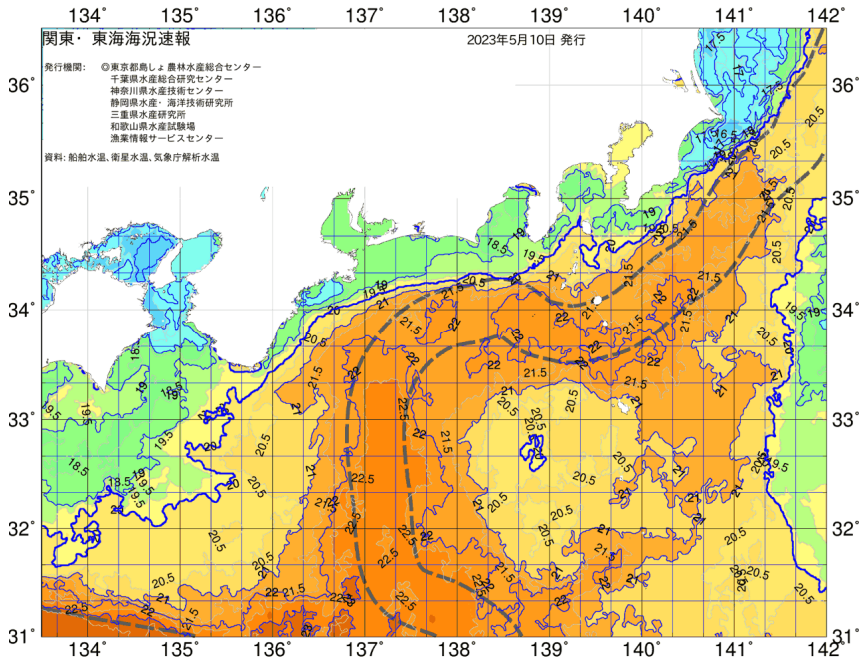

図 10　黒潮の動き（令和５年５月 10 日）　c

表１　主な調査点の水質調査結果（表層，溶存酸素量のみ底層）
（　）：最近10年間の平均値（2013～2022年）

	調査点	水温（℃）	塩分	透明度（m）	ｐＨ	溶存酸素量（ml／L）	アンモニア態窒素（μg／L）	溶存無機態窒素（μg／L）	リン酸態リン（μg／L）	クロロフィルa（μg／L）
内湾	船　橋	19.6	29.8	3.0	8.2	5.0	181.7	474.0	36.2	3.0
		(18.8)	(29.35)	(2.1)	(8.5)	(5.2)	(50.4)	(265.3)	(15.4)	
	st.15	18.7	29.2	2.5	8.3	4.9	124.8	387.5	24.8	1.9
		(18.7)	(29.3)	(2.0)	(8.5)	(3.6)	(32.9)	(235.9)	(10.6)	
	st.3	18.4	30.2	3.0	8.3	4.9	73.9	217.5	8.6	2.4
		(18.0)	(29.7)	(2.4)	(8.5)	(3.1)	(17.1)	(249.2)	(4.1)	
	st.6	18.3	30.5	4.0	8.3	5.5	89.0	216.5	6.4	1.6
		(17.9)	(29.7)	(3.0)	(8.5)	(3.8)	(36.0)	(269.7)	(7.8)	
	st.9	18.5	31.2	3.5	8.4	5.3	54.2	151.9	9.8	2.3
		(17.9)	(31.5)	(3.4)	(8.4)	(4.4)	(12.7)	(140.6)	(3.1)	
	BC（盤洲Cブイ）	19.7	30.6	3.0	8.4	5.9	69.3	223.3	9.7	3.0
		(18.8)	(31.1)	(2.8)	(8.4)	(4.7)	(20.0)	(142.9)	(4.3)	
	st.8（盤洲Ａ南）	18.8	30.9	3.5	8.3	5.3	70.5	174.6	10.5	3.2
		(18.1)	(31.8)	(3.2)	(8.3)	(4.1)	(17.9)	(132.2)	(3.0)	
	富　津	17.6	31.5	3.0	8.3	5.1	60.9	160.9	0.3	2.4
		(17.4)	(32.1)	(3.7)	(8.3)	(5.2)	(35.0)	(157.9)	(3.0)	
内房海域	st.2KH（第2海ほ下）	17.7	32.6	4.5		5.7	47.7	132.1	11.2	1.1
		(17.5)	(32.4)	(3.7)		(6.3)	(18.3)	(117.4)	(3.1)	
	st.31	17.5	32.0	5.5		5.5	36.5	144.5	8.8	2.0
		(17.3)	(32.7)	(4.9)		(6.3)	(9.5)	(115.6)	(3.1)	
	st.23	17.9	34.0	11.5		5.5	13.5	43.4	4.4	0.5
		(18.2)	(33.7)	(7.9)		(6.2)	(10.4)	(45.0)	(2.2)	
	st.1	18.0	34.5	17.0		5.7	27.2	80.7	3.2	0.4
		(17.9)	(34.4)	(11.6)		(6.3)	(11.8)	(40.6)	(3.0)	
	st.10（下洲沖）	17.5	32.8	5.0		5.9	33.2	109.5	7.1	2.7
		(17.8)	(32.8)	(4.2)		(6.3)	(10.9)	(82.3)	(1.9)	
	st.12（湊沖）	17.6	33.2	4.5		6.0	17.1	30.4	0.2	
		(17.4)	(29.4)	(4.2)		(6.5)	(10.0)	(77.6)	(1.5)	
	st.22（保田沖）	17.6	33.5	7.5		5.6	8.6	50.0	3.1	1.3
		(18.1)	(34.1)	(9.7)		(6.3)	(10.3)	(30.4)	(2.0)	
	st.24（富山沖）	17.8	34.4	13.0		5.6	3.2	30.6	4.5	0.2
		(18.2)	(34.2)	(9.2)		(6.3)	(12.0)	(29.2)	(1.7)	
	st.26（館山湾内）	17.8	33.8	13.5		5.8	4.0	27.9	3.9	
		(18.1)	(34.2)	(10.1)		(6.3)	(7.6)	(22.8)	(1.9)	

注）※ 透明度、pH、クロロフィルaの欄の橙色は赤潮の基準に、溶存酸素量の欄の青色は貧酸素水の基準に達していることを示します。